

アジアクエスト、リコーと AI エージェント×基幹システム連携の共同実証実験開始

AI エージェントを一元管理するアジアクエストの AI アクセス基盤「GAIA」と、リコーが社内運用する AI プラットフォーム、および自己改善型 AI エージェントを連携し、アクセス制御・ガバナンスを備えた AI 利用環境を実証

アジアクエスト株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役会長 CEO:桃井 純、以下 アジアクエスト)は、株式会社リコー (以下 リコー) と共同で、「AI エージェントと企業の基幹システムの連携に関する実証実験」を開始いたしました。本実証実験は、企業が AI を“同僚”として、安心して業務を任せられる環境作りを目指します。

アジアクエスト株式会社 ⇒ <https://www.asia-quest.jp/>

■共同実証実験概要：3つの要素を組み合わせる

アジアクエストの AI アクセス基盤「GAIA Governed AI Access」(以下「GAIA」) と、リコーが社内運用する AI プラットフォーム、および自己改善型 AI エージェントを連携した検証を段階的にを行います。

はじめに、3つの要素を接続し、両社のシステムが連携して動作することを確認します。続いて、連携を前提とした具体的な活用シーンを探索します。さらに、特定の業務分野の基幹システムと接続し、その業務に特化した AI エージェントを実際に動作させることで、業務への適用性と有効性を検証します。

■各要素の役割

アジアクエストが独自で開発・提供する **AI アクセス基盤「GAIA」** は、AI エージェントのアクセス状況を一元的に監視・権限管理し、業務範囲外の操作や情報漏洩を防ぎます。

自己改善型 AI エージェントは、Nous Research 社が公開するオープンソース「Hermes Agent」※をもとにリコーが導入・カスタマイズしています。ユーザーとの対話を通じて業務を自律的に実行し、単なる回答生成にとどまらず、必要な作業手順を判断しながら OS 操作やファイル処理などのタスクを実行します。さらに、タスクの実行過程で得られた作業手順を「スキル」として蓄積・再利用するため、ユーザーが利用を重ねるなかで業務手順やノウハウを継続的に蓄積し、より効率的かつ高い再現性で業務を遂行します。

またリコーの AI プラットフォームは、認証や LLM の利用管理を担い、GAIA と自己改善型 AI エージェントの連携を支える基盤となります。両社の強みを活かした、3つの要素の組み合わせで、安全かつ統制の効いた AI エージェントシステムによる業務改革を目指します。

※Hermes Agent の詳細：<https://hermes-agent.nousresearch.com/>

■背景：生成 AI の全社展開を阻む「基幹システム連携」と「データガバナンス」の壁

生成 AI の普及により、企業における日常業務での AI 活用は着実に広がっています。しかし、AI を業務の中核で活用するには、依然として高い壁があります。

一般に提供されている生成 AI サービスをそのまま利用するだけでは、企業や部署ごとに異なる業務知識や社内ルールを十分に理解できず、利用者一人ひとりの役割や業務の進め方に即した支援も難しいのが現状です。また、顧客情報や案件情報など、企業の価値の源泉となるデータの多くは基幹システムに蓄積されていますが、AI との連携は限定的です。さらに、AI が扱うデータへのアクセス管理や操作履歴の管理といったガバナンスの確立が追いついておらず、全社展開をためらう企業も少なくありません。こうした課題を解決し、企業が安心して AI を業務に取り入れられる環境を実現するため、両社は本実証実験に取り組みます。

■今後の展開

本実証で得られた知見は、より多くの業務への適用可能性の検討に活かしてまいります。あわせてアジアクエストは、AI 活用のガバナンス整備に課題を抱える企業への支援サービスとして、本取り組みの知見を体系化し提供していく予定です。

■本プロジェクトが見据える未来 両社が目指す、「人と AI が共に働く社会」

リコーは、熟練者の退職に伴い「現場の勘やコツ」が継承されずに失われてしまう課題に対し、企業向け AI プラットフォーム「Hi.DEEN」を提供しています。また、単一の問い合わせに応答するチャット型 AI の利用に加え、複数の業務プロセスを自律的に実行する AI エージェントと独自開発の LLM をローカル環境で提供しています。リコーは、お客様の業種や定型・非定型業務に合わせて利用できる「使える・使いこなせる AI」を提供し、お客様が取り組むオフィス/現場のデジタルトランスフォーメーション (DX) を支援しています。

一方アジアクエストは、「人と AI が共創し、人の創造的な価値を最大限に発揮できる社会」を目指しています。AI 普及に伴う人材の二極化を見据え、複数の AI を統合してビジネス課題を根本解決できる高度 IT 人材の育成に注力するとともに、約 400 名のエンジニア基盤のもと、AI 活用の研究開発とセキュリティ面を支える「攻めと守り」の専門部署を新設するなど、自らも AI ネイティブな組織へと変革を続けています。かねてよりシステム開発で協業してきた両社にとって、本実証実験は、それぞれが目指す「人と AI が共に働く社会」の実現に向けた共創の第一歩となるプロジェクトです。

■株式会社リコーについて

リコーグループは、世界約 200 の国と地域でデジタルサービスを展開しています。複合機などの事務機器をはじめ、IT サービスや印刷ソリューション、産業システムを提供し、お客様の「はたらく」の変革を支援しています。持続可能な社会の実現に向け、はたらく人の創造力を支え続けます。

詳細：<https://jp.ricoh.com/>

■AI インテグレーターとは

従来の強みである幅広い技術力による「デジタルインテグレーション」と、業界知見や課題理解に基づく提案力を持つ「ビジネスエンジニア」に加え、AI オークストレーションをはじめとする高度な「AI エージェント開発」を組み合わせることで、意思決定や業務プロセスの高度化を実現するプロフェッショナル集団です。アジアクエストは、最適なドメイン特化型 AI エージェントを提供し、お客様の戦略的パートナーとして社会に貢献する「AI インテグレーター」を目指します。

■アジアクエスト株式会社について

アジアクエストは、高度な AI 技術を核に、AIX(AI トランスフォーメーション:AI による業務変革)および DX の実現を支援する AI インテグレーターです。AI・IoT・クラウドなど多様な技術に加え、建設・製造・小売といった各業界の知見をあわせ持つプロフェッショナル集団として、コンサルティングから設計・開発・運用、人材育成まで一貫して伴走。PoC から大規模システム構築まで、確かな実装力で応え、お客様と共に新たな価値の創出と変革を実現しています。



アジアクエスト × リコー 共同実証実験開始
AIエージェント × 基幹システム連携
アクセス制御・ガバナンスを備えたAI利用環境を実証